

礼儀

作法

ビジネスを
スマートにする

いまどき 冠婚葬祭

Q&A

マナー

しきたり

はじめに

社会生活を営むうえで、人と人とのつき合いは欠かせません。常日頃のつきあいの中で冠婚葬祭という人生の節目に対して、「祝い」「感謝」「労（いたわり）」など折々のところを「贈答」という形で表現します。「人を思いやるところ」を「形」（品物やお金）に託して表すことがあるのはいうまでもありません。

このことは、ビジネスの世界においても同様です。個人や会社を取り巻く人達とつきあっていくうえで、この「人を思いやるところ」をいかに表すか？ おそらく、そのひとつの方法が、先達が築いてきた為来り（しきたり）という形を借りて、人生の冠婚葬祭の節目で「それを素直に表してみる」ということかも知れません。ビジネスでは、人それぞれの立場や環境、考え方などにより行動に違いはあるにせよ、感謝のころや人を思いやるころに大きな差などあるはずありません。

しかし最近では、こうしたつきあいやしきたりも簡素化しているように感じます。

とりわけビジネスの現場では、効率性・合理性のもと、この傾向はより顕著です。

一方で、外国人の増加に伴い、昨今、日本のもてなし（持て成し）の大切さが見直される局面もあります。

本冊子は、こうした時代だからこそ、人間の「真心（まごころ）」をいかに行動に表すかを示し、押えておきたい礼儀作法やマナーを、冠婚葬祭の基本を踏まえつつ、昨今に適したケースに基づき解説していきます。

まごころはきっと通じます。まごころが通じればもっとお互いを支えあえるはずです。先様のことを思い「まごころ」を込めて贈るという人の気持ちを「熨斗（のし）紙」に託しているのです。現代では、印刷された「のし紙」が主流ですが、品物に奉書紙を掛け、のしあわびを添え、水引きで固く結び、毛筆で「表書き」と「贈る人の名前」を書いて「贈り物」をしてきた先達の歴史を知ることは、決して無駄ではないと思います。

神聖ささえ感じるこののし紙には、わが国の「人をもてなす」原点があるのかも知れません。

この小冊子をそのための一助としてお役に立てていただければ、長い間実践的に取り組んできた者にとってこの上ない喜びです。

著 者



目

次



交と礼

第1章

おつきあいのマナー 2

- 贈るこころの留意点 2
- のし（熨斗）と水引、のし紙と掛け紙 5
- 贈るこころを伝える表書き 8

冠

第2章

人生の祝い事等のマナー 12

- 昇進、海外赴任、定年退職 12
- 勲章と褒章、その他の受章祝い 14
- 地鎮祭、上棟式、新社屋落成 15
- 病気見舞 17

婚

第3章

結婚のマナー 18

葬

第4章

葬儀・法要のマナー 24

- 通夜、香典、会社からの弔慰、手伝いのお礼 24
- 会葬時のマナー（仏式・神式・キリスト教式） 27
- 喪の期間、喪中葉書 32

祭

第5章

生活歳時のマナー 36

- お歳暮と御年賀・寒中見舞 37
- お中元と暑中見舞 38
- お祭への奉納 39

- コラム●「内のし」と「外のし」 6
- コラム●表書きの方法 8
- コラム●贈り物の“正しい作法” 11
- コラム●「冠」とは 13
- コラム●勲章と褒章 14
- コラム●仲人からのお祝い 19
- コラム●最近多くみられる家族葬や密葬 24
- コラム●香典返しにお礼は必要か？ 25
- コラム●民間の年中行事 36

おつきあいのマナー



贈るこころの留意点

Q

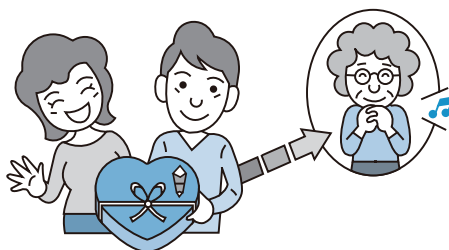
贈り物をするときの心構えは
どのようにすればよいのですか？

Answer

贈り物をする際、何よりも大切なのは、相手を祝福する、あるいは慰めるこころを持つことです。お返しも同様、贈っていただいたことや受けた礼に対して、こころから返し報いることです。もちろん、ここでいう「こころ」とは「誠意」のことです。すなわち、“物を贈る”ということは“こころを贈る”ことにほかなりません。

○ (適当なもの)	× (避けたいもの)
● その人がほしいと思っているもの ● 贈る側（自分）がほしいと思うもの ● 自分で買うにはちょっと贅沢と思うもの ● 重なっても便利なもの ● おいしいもの ● その人が関心があると思うもの	● 肌に近いもの ● 縁起の悪いもの ● 相手を軽視したもの ● 高価すぎるもの

* 親しい人には、直接予算を伝えて、ほしいものを尋ねるのもよいでしょう。





お金を包むときに、まだ折り目がない新札と古札には、使い分けがあるのですか？

Answer

もちろん使い分けはあります。慶事には新札を包みます。お祝いの気持ちを込めて、事前に準備します。

一方、弔事には古札を包みます。通夜や葬儀・告別式は、突然の悲しみですので事前に準備できるものではないからです。法要も含めて古札を用いることをおすすめします。どうしても新札しかないときには、お札に折り目をつけましょう。



ご祝儀や贈答品の“数”で特に気をつけなければならないことは何ですか？

Answer

二・四・六・八の偶数を避け、一・三・五・七・九の奇数を心掛けるようにするとよいでしょう。そもそも七五三のお祝い、三三九度の盃さかずき、正五九のお参り、あるいは一月七日（七草）・三月三日（上巳）・五月五日（端午）・七月七日（七夕）・九月九日（重陽）の五節句など、昔からの行事や祝い事には奇数が多く使われています。これは、古代中国の陰陽道から伝わったもので、奇数は陽、天、日、動、表など、積極的な面を表す“めでたい数”といわれる一方、偶数は陰となり、陽の当たらない「かげ」の数字とされていたことに始まります。

日本では結婚のお祝い金をペアとか対の意味として「2万円」包むことが多いようですが、奇数を心掛ける観点からすると1万円札1枚と5千円札2枚の計3枚を包むとよいでしょう。このとき、金包みに「金貳萬圓也」と金額を漢数字（旧字）で書くようにします。

また、贈答品の場合は慶事と弔事でも変わってきます。慶事では、一般的には奇数がよいとされていますが、ビールやグラスのようにダース単位で贈るものや、夫婦茶碗やペアのマグカップなどは偶数でも構いません。一方、弔事では、不幸が重なるということのを忌み一点に限定するほうが望ましいといえます。

ただし、日本では、偶数であっても「八」が末広がりとして喜ばれ、「四」「九」は「死」「苦」に通じる凶数として嫌われていることも覚えておくとよいでしょう。

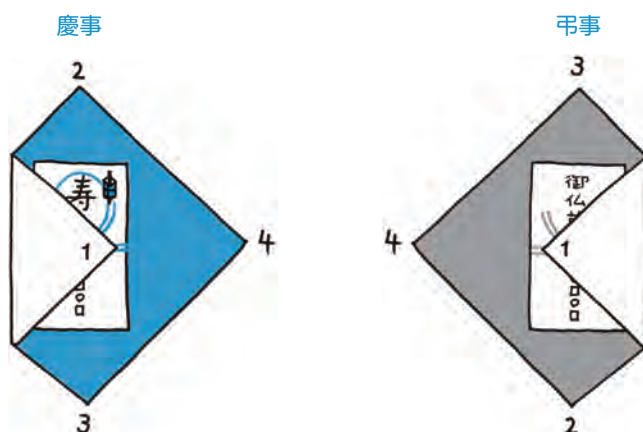
Q 祝儀袋・不祝儀袋、贈答品の正しい手渡し方を教えてください。

Answer

祝儀袋・不祝儀袋

できるだけ「ふくさ（袱紗）」を用意し、それに包んで持参します。祝儀袋や不祝儀袋をポケットやハンドバックから直に出して手渡すのは略式の場合です。慶事には赤系統の明るいふくさで、弔事には紺や ^{うぐいす} 鶯色の無地のふくさで包みます。濃い紫の無地のふくさは慶弔両用として使えます。

なお、慶事と弔事では、ふくさのたたみ方が異なります。



慶事の場合は、①まず左を折り、②次に上、③下、④最後に右を重ねます。

弔事の場合はこの逆になります。

贈答品

よくお店の手提げ袋（ショッピングバック）に入れたままで、品物を先様にお渡しする人がいますが、それは失礼にあたります。手提げ袋を使用するのは、あくまで持ち運びのときのみにして、先様に手渡すときは品物を袋から取り出し、品物の正面を確認して差し出します。

ふろしきに包んで持参する場合は、挨拶の後、置いてある品物の包みをほどいて、品物の正面を先様に向け、両手ですべらせるように静かに押して差し出します。正式な手渡し方は、進物盆（広蓋）にのせ、ふくさを掛けたりしますが、現在では儀礼的な場合以外はあまり行われなようです。

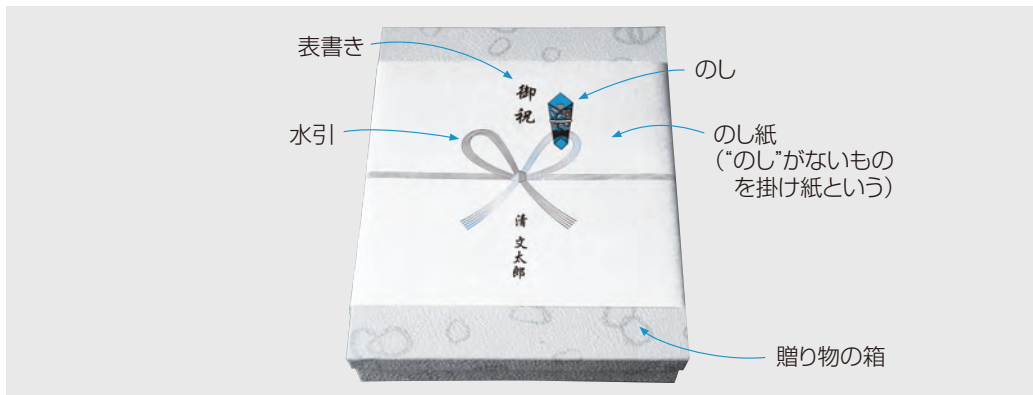


のし（熨斗）と水引、のし紙と掛け紙

Q “のし” とは何ですか？
“水引” とはどのような場合に使われるのでしょうか。

Answer

“のし” や “水引” は、贈り物やお金を包む際に用いられるもので、下の写真は印刷のし紙の一例です。



“**のし**” は、一般的な贈り物と慶事で用いられます。特に「延びる、永続」の意味を持ち、あわび（鮑）の肉を薄く、長くはぎ、引き伸ばして乾したものを“のしあわび”といい、もともとは祝儀用の肴に用いていたことに由来しています。したがって、病氣見舞い、災害見舞い、弔事の供物や不祝儀の贈り物には「引き伸ばす」と「生臭物を忌み嫌う」との意味から、絶対に使いませんので注意しましょう。

“**水引**” は、あらゆる贈答品の包装に使用します。水引とは、和紙をよってこより状にし、よりが戻らないように水糊を引いて固めたことから「水引」と呼ばれるようになりました。本来、水引には包みを確実に結びとめる役割、けがれ（汚れ）ていないものを贈る、ものごとの成就など、結ぶことに託す役割があったようです。慶事・弔事・普段の贈り物など、用途により色・本数・結び方が異なりますので、注意が必要です。

Q 水引の本数、水引の色の使い分けについて教えてください。

Answer

本数

水引の本数は、細いこより状のもの3本、5本あるいは7本をまとめたものをそれぞれ1本とします。前ページの写真のように、一般的に掛け紙に印刷されている水引は、5本のものであってよいでしょう。贈答品の目的により、本数と色が以下のように変わります。

一般の贈答品	5本
結納と結婚に関する贈答品	10本（5本×2本）

* 夫婦は2人1組という考えから、5本の水引を2本まとめて10本と考えます。
正式の場合も奉書紙2枚を腹合わせにかけ、水引2本（10本）にして使います。

* 以下本冊子では5本を基本としています。

色

水引の色には、1色もの（金、銀、紅、グレーなど）と、中央から左右が別々の色（金銀、紅白、黒白、黄白、紺白など）になった2色ものの2種類があります（前ページの写真は紅白の水引）。色については以下のとおりです。いずれも白が左（金銀の場合は銀が左）になるように結びます。

一般の贈答品・慶事	2色ものの紅白
高価なもの	2色ものの金銀
弔事	2色ものの黒白、黄白、紺白

コラム 「内のし」と「外のし」

結納や結婚に関することや長寿祝、叙勲祝など、直接先様に持参して手渡しする贈答には“奉書紙と水引とのし”または“印刷のし紙”を用いた「外のし」が多いようです。また、会社からの記念品（手渡し）などにも一目で送り主名がわかる外のしが用いられます。

ただ、現在では「贈り物」も「お返し物」も百貨店などを通じて届けることが多く、包装紙で包み“お届け伝票”が貼られますので、「内のし」が圧倒的に増えているようです。

Q 水引の結び方の違いについて教えてください。

Answer

水引の結び方には、「花結び（蝶結び）」「結び切り」「あわび結び（あわじ結び）」の3通りがあり、それぞれ結び方によって意味が異なります。

花結び

片方の水引を引くとほどけることから、そのことが何度繰り返されてもよい祝い事と、一般的な贈答に用いられます。

結び切り

真結びで、輪ができない結び方です。一度結ぶとほどけない、再度容易に結び直せないことから、二度と繰り返されてほしくないことがらに使用されます。弔事、病気見舞いとそのお返しにも水引の色に注意して結び切りを用います。

また、結納や結婚関係には、「夫婦結び」と呼ぶ結び切りを使用します（ただし、結婚記念日は花結びを用います）。

あわび結び

水引の色によって慶事にも弔事にも使用します。

花結び



（蝶結び）

結び切り



（夫婦結び）

あわび結び



（あわじ結び）



贈るところを伝える表書き

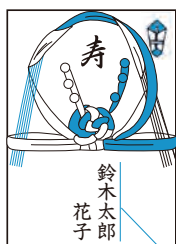
Q

表書きをするときに、注意したほうがよいことを教えてください。

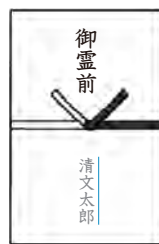
Answer

昔は、贈り物に品名と数量を記入した「目録」をつけましたが、現在では印刷のし紙の「表書き」に変わってきています。表書きで気をつけることは、次のとおりです。

- 筆で書くのが正式。水性のサインペンでも O.K。万年筆やボールペンは避ける
- 書体は楷書が一般的。ていねいに読みやすく
- 慶事は慶びを表す気持ちから、ところを込めて墨は濃く書く
- 弔事は「墨を磨る時間を惜しんで駆けつける」「悲しみの涙で薄れる」の意味から、心もち薄めに書く（薄墨のペンがあります）
- 上段に表書きを、下段に氏名を表書きよりやや小さめに書く
- 文字は、のしや水引にかからないように書く



濃く書く



薄墨で書く

コラム 表書きの方法

1人の場合



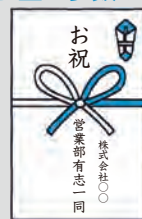
氏名はフルネームが基本。
中央へ

会社を代表して贈る場合



氏名を中央に
社名はその右側に。肩書は、氏名の上か右（肩）（社名の左側）に

贈り主が多数の場合



〇〇一同（全員からでない場合は〇〇有志一同）とし、中央に。全員の名前（氏名）を書いた紙は品物または金封の中に入れる。連名で表に書ける人数の目安は3～5名。目上の人から右より順に。

人生の祝い事等のマナー



昇進、海外赴任、定年退職

Q

取引先から社長交代のお知らせをいただきました。
会社としてはどう対応したらよいのでしょうか？

Answer

重要な取引先のトップ交代のお知らせを受けた場合は、責任ある立場の方が直に「お祝い」を持参し、挨拶をするとよいでしょう。

掛け紙・金封：のしあり 紅白花結び

表書き：「祝 御昇任」「祝 ご就任」

贈る時期：1週間前後（知らせを聞いてから早い時期）

贈り物：祝い酒（日本酒、地酒、古酒、泡盛、焼酎、ウイスキー、ブランデー、紅白ワイン）などが一般的。また、担当秘書にうかがうなどして、相手の趣味・嗜好や年代、職業や業種を考慮した身の回り品、ビジネス関連品（たとえば地球儀、ブックエンド、扇子、高級ボールペン、机上の小物（ペン立て））なども喜ばれます

予算は1～5万円程度



▶お返し◀

お返しをする場合は、紅白花結びののし紙に「御礼」「粗品」としますが、現在は品物ではなく「お礼状」程度にとどめるのが一般的です。



定年退職をされる方に感謝の気持ちを込めてお祝いをしたいのですが、お金をお贈りしても失礼にあたりませんか？

Answer

目上の方にお金を贈ることは失礼になる場合がありますので「品物」にしましょう。就職以来、長い年月を勤めあげられたことは誠に意義深く、その会社を退職するのはさぞや感慨無量でしょう。周囲の温かい心遣いによりその労をねぎらい、ここから祝って差し上げたいものです。

掛け紙・金封：のしあり 紅白花結び

表書き：「祝 御退職」「祝 ご退職」「祝 御退官」「祝 ご退官」

「祝 ご退任」「祝 ご勇退」「御贐」「御餞別」

会社や団体の場合は「記念品」「謹呈」、定年退職以外（自己都合退職）の場合は「御贐」とするのが適当

はなむけ
*ここでの贐の意味は、「激励して別れる」です。

贈り物：「これからの生活を楽しんでほしい」とのころから、趣味・

レジャー用品、健康に留意してほしいことからスポーツ用品などが一般的

在職中の写真で綴った手作りアルバム、色紙への寄せ書き、花束、香水入れなど、感謝の気持ちを込めた贈り物も喜ばれるでしょう



コラム 「冠」とは

「冠」という言葉は、男が成人のしるしとして二十歳で元服して冠かんむりをつけたという中国の「礼記」に由来しています。

誕生から長寿祝いまでの人生の祝い事や節目の儀式を指すのが「冠」。様々にある幸せの中で、誕生のときから人生の節目ごとに親や周囲の人たちから祝われる幸せは「してもらう幸せ」「できるようになる幸せ」「してあげる幸せ」となって、自分もまた人を祝う幸せへとつながっていきます。

●出産、誕生に関する祝い事

「帯祝」「出産のお祝い」「お七夜の祝い」「お宮参り」「お食い初め」「初誕生のお祝い」「初節句」

●子どもの成長に関する祝い事

「七五三」「十三参り」「入園・入学の祝い」「卒業・成人・就職の祝い」

●人生の様々な祝い事

「長寿の祝い」「結婚記念日」

これら人生の節目の祝い事は主に身内で祝います。

結婚のマナー

Q

会社の同僚が、結婚式を挙げないで入籍だけすると聞きました。私が結婚したときは3万円いただいておりますが、こういう場合のお祝いはどのようにしたらよいのでしょうか。

Answer

「結婚式を挙げない」「内輪だけで挙式する」などのように結婚式に招待されていない場合は、品物（記念に残るものや自分で買うには少しぜいたくなもの）を5千円くらいで贈るとよいでしょう。

★結婚式に出席するときのご祝儀の目安

贈り先	金 額
同僚・部下	20,000 円～ 30,000 円
友人・知人	20,000 円～ 30,000 円
兄弟・姉妹	50,000 円～ 100,000 円
親 戚	30,000 円

★結婚式に招待されないときのご祝儀の目安

贈り先	金 額
同僚・部下	5,000 円～ 10,000 円
友人・知人	5,000 円～ 10,000 円

Q

会費制の結婚式に招待されました。会費のほかにご祝儀を包まないでよいのでしょうか。

Answer

結婚披露宴を会費制にしようと企画した新郎新婦には、それなりの考えがあつてのことだと思います。招待された方は、会費をご祝儀袋に包んで持参するとよいでしょう。会費もお祝いですから。

Q 入籍と出産が重なったときのお祝いはどうすればよいですか。

Answer

「授かり婚」「できちゃった婚」などともいわれますが、結婚^{イコール} = 出産や出産後に結婚式・披露宴をするなどのケースもあります。このようなときのお祝いのさしあげ方は、妊娠中の結婚式・披露宴の場合は「結婚祝い」、結婚^{イコール} = 出産の場合は「出産祝い」とします。

設問のような入籍直後の出産は、「結婚^{イコール} = 出産」の場合に準じます。

Q 北海道にいる友人から結婚式に招待されました。私は東京在住ですが、交通費や宿泊費は自分で負担するもののでしょうか？

Answer

日頃あまりつきあいのない方なら、お断りするのも1つの方法です。ただ、その場合は「せっかくのお招きなのに」「外せない用事があるので」「残念ながら出席できません」などの言葉を忘れずに添えて、1～3万円を目安にお祝い金や贈り物を送ります。

なお、出席する場合は、1万円と通常の額（3万円）の二通りのご祝儀を用意しておくといでしょう。交通費や宿泊費は先様が受付に用意している場合もありますので、その有無によって使い分けます。

コラム 仲人からのお祝い

お祝金：5～30万円

金 封：のしあり 紅白または金銀の夫婦結び

表書き：「祝 ご結婚」「寿」「御祝」

名入れは仲人夫婦の連名

